

令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	誰もが生涯にわたり 安心して健やかに暮らせるまちづくり 【福祉・保健分野】	施策	10_運動・スポーツ	所管部長 取りまとめ所属	健康づくり担当部長 スポーツ課		
施策の内容	多くの市民が健康で活力ある生活を送ることができるよう、ライフステージに応じた運動・スポーツに親しむ機会の提供や、それらを支える人材の育成を推進します。 また、計画的な改修・維持管理により、スポーツ環境の確保を図るとともに、将来的なスポーツ施設の適正配置に向けた検討を進めます。						
めざす姿	生涯を通じて運動やスポーツに親しむ環境が整い、多くの市民が心身ともに健やかな生活を送っています。						
重点事業	市体育館エントランスホール空調設備改修事業						
施策構成事業	公園維持管理費	体力づくり推進事業費	スポーツ・レクリエーション活動推進事業費				
	学校体育施設開放事業費	総合体育大会開催費	大山登山マラソン大会開催費				
	体育施設維持管理費						
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	減少していたスポーツ事業の参加者数やスポーツ施設の利用者数がコロナ禍前の状況までほぼ回復し、運動やスポーツをする人の割合も上昇傾向が見られるため、施策全体が概ね順調に進捗していると判断します。				
施策推進上の課題・環境変化	施設の老朽化により新たな修繕箇所が増え、一部の施設で利用ができなくなるなど対応が追いついていない状況です。 また、オリンピックなどが開催された影響により、今後行ってみたいスポーツ種目が広がるとともに、スポーツをする年齢構成や男女比など、競技種目による参加者の偏りなどが見受けられます。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調						
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策推進方針	令和9年度以降の内容を踏まえ施設の修繕計画を随時見直し、予算の平準化を進めるとともに、スポーツ施設が継続して利用できるような着実に施設修繕を行っていきます。 市民のニーズとしては、ウォーキングなど特に手軽に一人でも参加できる運動などを希望している方も多く、施設を利用しないスポーツ事業の立案、提供を進めていきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
市主催スポーツ事業の参加者数	4,207人 (R3)	9,919人					7,800人
市が主催する各種スポーツ競技大会や教室、講習会の延べ参加者数							
スポーツ施設の利用者数	320,670人 (R3)	318,157人					↗
市有スポーツ施設（総合運動公園や鈴川公園、武道館等）の延べ利用者数							
週に1回以上運動やスポーツをする人の割合	53.4% (R3)	61.0%					70%
「市民の体力・スポーツに関する調査」等における数値							

重点事業の取組内容			
事業名	市体育館エントランスホール空調設備改修事業		
事業内容	総合運動公園体育館を訪れる市民等に快適な環境を提供し、総合運動公園全体の利用促進と避難所としての機能強化を図るため、市体育館エントランスホールの空調設備を改修します。		
取組工程	項目	令和5年度	
		計画	実績
	空調設備改修	設計	設計
令和5年度取組内容	●令和4年度に行った条件整理に基づき、既設のチラー（冷温水発生器）と循環ポンプ等を撤去し、同等能力のチラー等を新設するための設計業務を、入札、契約、監理等を適切に進め、委託により実施しました。		
重点事業以外の取組内容			
令和5年度主な取組内容	●令和6年度において円滑に改修工事が実施できるよう、営繕計画に基づき適切な工事費の積算等を行うとともに、国庫補助金申請事務を都市部公園担当と連携し、着実に進めました。		